

農業技術

リズム

シイタケの菌床栽培において、経営安定を図るための手段として、菌床培地の配合を変更することによる収量の増加やコスト縮減が挙げられます。

シイタケの菌床培地は、基材となるおが粉、水、米ぬか、ふすまなどの栄養体を混合して作られます。この培地に、カルシウムなどのミネラルが豊富な資材を添加し、シイタケの発生量を増加させる研究を行いました。

今回、県内で栽培されているシイタケ品種「北研600号」と県内で用いられている培地資

材を使用して、試験を行いました。ふすまと米ぬかの配合割合が異なる培地を作成し、水分調整後の重量に対してカキ殻粉末

シイタケ菌床培地の配合と収量の変化

カキ殻粉末添加で発生量増加傾向に

を0.5%または1%添加し、発生量を比較しました。

その結果、カキ殻粉末を添加すると、ふすまと米ぬかの配合割合にかかわらず、カキ殻粉末

を添加しない場合よりも発生量が1割以上増加する傾向が見られました(図)。この結果は1菌床当たりの生産性の向上につながると思われる。

(県農林技術開発センター 葛島祥子)

